



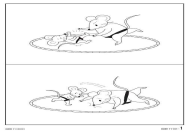
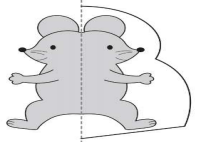
4歳児クラス 11月 第1回 「ねずみのすもう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・「♪よいしょ、どっこいしょ、うんとこしょ、どっこいしょ、はっきたあ、ほっきたあ」の繰り返しの掛け声をリズム良く読む。 ・ネズミ同士の会話を生き生きと表現する。また、おじいさんとおばあさんの人柄をほのぼのとした温かいコトバで表現する。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなネズミと小さなネズミのペープサート提示「はっけよいのこったのこった」「こんにちはネズミくん！何してるの？」「お相撲だよ」「お相撲知ってるかい？」子どもに問いかけるなどネズミとの会話を楽しんでお話に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート(ネズミ) 	
導入		保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ペープサート登場 ・会話をする 

がくしゅうタイム

活動①	ねずみ	位置	左右を理解し指示された方に○をすることが出来る	
設問			どちらのネズミが勝ちましたか。先生のお話をよく聞いて○をつけましょう。	
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> ・保：「はっけよいのこったのこった」プリント提示。 	教材
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> ・講：「のこったのこった・のこったのこった」プリントを動かしながら提示する。 ・「右のやま～右のやま～」 「右が勝ったみたいだけど、右ってどっちだ？」 ・「みんなの右手はどっちかな？」などと左右の確認をしてから行う。 ・左右の理解ができるかが課題。左右の理解が難しいようであれば、右の手の平にシールを貼るなどの工夫をする。 ・プリント配布し始める。 ・答え合わせをし、花丸ハンコ等で賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> P1 ★鉛筆 赤鉛筆・ハンコ
				<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提示 ・プリント配布 ・子どものフォロー ・賞賛
活動②	ねずみ	巧緻性	ハサミを使いネズミを切ることができ、トントン相撲を楽しむことが出来る。	
設問			ネズミをハサミで切り、トントン相撲をしましょう。	
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> ・「はっけよいのこったのこった」と、ネズミ相撲を持って登場。 	教材
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> ・講：「楽しそうだね、何してるの？」 ・「とんとん相撲だよ、一緒にやろうよ」 ・講師と保育士で楽しくとんとん相撲の様子を見せる「〇〇山～〇〇山～のかち」 ・「くやしい！もう一回」等、講師・保育士で楽しいネズミ相撲の取り組みを見せて、子ども達もやりたい！と気持ちを高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ねずみのすもう用紙(お土産用1枚) 先生用ねずみのすもう用紙 ★ハサミ 平かゴ等
				<ul style="list-style-type: none"> ・ねずみを持って登場 ・子どものフォロー ・トントン相撲と一緒に楽しむ ・賞賛
			<p>【作り方】</p> <p>①ネズミカードを点線のところで半分に折る(しっかりと指先で折り目をつける)</p> <p>②線をハサミで切る(ゆっくりと丁寧に)</p> <p>※しっかりと折れないと取り組みができないので、ハサミ同様フォローする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がったら、平かゴの上に乗せて、トントン相撲をする。 ・先生と対戦したり、子ども達同士など、いろいろ工夫して楽しむ。 ・当日は持ち帰らずに後日保育中に遊んでもよい。 ・1枚はお土産にし、家でも遊べるようにする。 <p>※土俵は学習タイムで使用しているプラスチック平かゴを使うと良い。</p>	

数チャレ	<small>おはじき</small>	数	教材
7個の操作が出来る			おはじき お皿（5個入り） お皿（数個）
設問	おはじきを使い7個の操作をしましょう。		
活動内容	・ 今月は7個の操作です。お皿に5個入れておき、あと何個入れたら7個になるか、別のお皿（数個入っている）そこから2個取り5個のお皿に入れて7個になったか数える等。クラスや個々に合わせて、数を設定する。		
			保育士の役割
			・ 皿の提示 ・ 子どものフォロー ・ 賞賛